



理工学部講演会「知の創造シリーズ」第 1 回 「深層学習はどこまで発展したか」を開催

【概要】

令和元年 12 月 20 日（金）に、理工学部 6 号館にて、佐賀大学理工学部講演会「知の創造シリーズ」の第 1 回として、深層学習（ディープラーニング）に関する講演会が開催されました。

【本文】

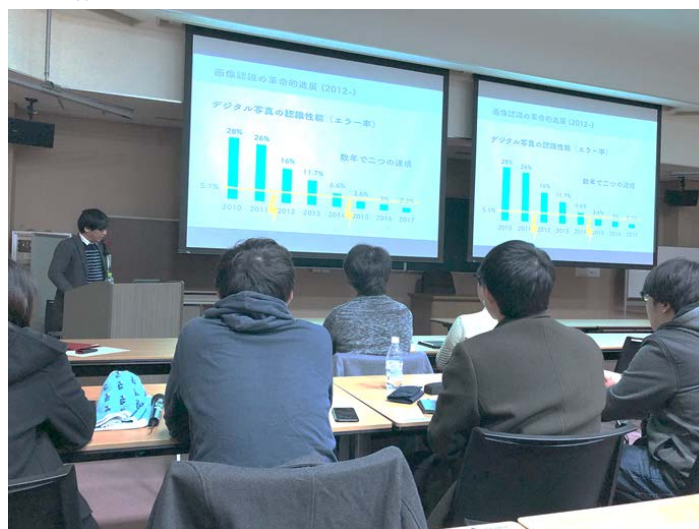
このたび佐賀大学理工学部では、アカデミックな研究内容を広く紹介し共有することで、新たな知への創造につなげることを目的に「知の創造シリーズ」と題する講演会を立ち上げました。今回その第 1 回として、令和元年 12 月 20 日（金）に、理工学部 6 号館多目的セミナー室にて、深層学習（ディープラーニング）に関する講演会を開催しました。

講演会では、佐藤 理工学部副学部長の挨拶に引き続き、理化学研究所数理創造プログラム (iTHEMS) の 瀧 雅人 上級研究員による「深層学習はどこまで発展したか」と題した講演があり、近年急速な発展を遂げてきた AI 技術の発展の背景にある深層学習（ディープラーニング）について説明がありました。参加者は講演を熱心に聞き入っていました。講演終了後には多くの質問が出され、参加者の関心の高さが窺われました。また講演会中に実施したアンケート結果から、参加者の講演内容に対する高い理解度と満足度が示されました。

講演会の参加者数は 88 名で、本学教職員と学生に加え、学外からの参加もありました。また今回の講演会に関する記事が佐賀新聞に掲載されました。

「AI 活用の深層学習 理研研究者が解説 佐賀大で講演会」

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/468822>



講演会の様子